

# 学校経営推進費 事業計画書

## 1. 事業計画の概要

学校名	大阪府立登美丘高等学校
取り組む課題	キャリア教育の充実（生徒の希望する進路の実現）
評価指標	1 学校教育自己診断における生徒の授業満足度及び家庭学習度の向上 2 国公立、難関私立、看護医療など、生徒の細やかな希望に沿う進学実績の向上
計画名	「Challenge & Hospitality」の実現 ⇒ オンライン授業 Pjt 「タブレット授業に挑戦・オンラインでの家庭学習時間にも寄り添うきめ細やかなホスピタリティの向上」

## 2. 事業計画の具体的内容

<b>学校経営計画の 中期的目標</b>	<p>主体的で挑戦心にあふれ、且つ、思いやり・気配りのできる生徒の育成「Challenge &amp; Hospitality」</p> <p>1 授業の充実と進路の実現</p> <p>(1) 「わかる授業」「学力がつく授業」「進路に結果を出す授業」に取り組む</p> <p>② 教師力（教科指導力+人間力）を向上させる。 これまでに蓄積してきた授業実践の成果を継承しつつ ICT 機器を活用するなど授業に新風を吹き込む取組みを進める。</p> <p>(2) 進学実績の向上</p> <p>① 「授業・自学自習（≒週末課題）・講習」の一体化と充実を図る。</p> <p>② 「自学力」の育成—もっと学びたい生徒のための環境づくりに取り組む。</p> <p>③ 「国公立志望・看護医療（公務員）希望」—国公立進学希望者の進路を実現させるとともに生徒の細やかな希望に応える体制づくりを行う。</p> <p>④ 学習指導要領改訂、高大接続改革に向けた準備を進める。</p> <p>※ 共通テスト受験者数 (H29: 156名 H30: 150名 R1: 139名 →R4年度・150名)            国公立現役合格者 (H29: 16名 H30: 8名 R1: 8名→R4: 20名)            関関同立現役合格者 (H29: 86名 H30: 69名 R1: 64名→R4年度・100名) をめざす。</p>	
<b>事業目標</b>	<p>「令和時代のスタンダードとしての1人1台端末環境」に備え</p> <p>① 教員がタブレットを使用したICT授業及びオンラインで課題提供・課題サポート・授業推進する技能の習得・実践を行う。</p> <p>② 生徒がモバイル・PCで授業及び家庭学習を行い、希望する進路の獲得確率を上げる。 を実現することにより「授業満足度」「家庭学習度」を向上し、めざす進路獲得=進学実績の向上を図った上で、中堅校の一人一台端末時代のモデルパターンを作る。</p>	
<b>取組みの概要</b>	<b>整備する 設備・物 品</b>	壁掛け式超短焦点プロジェクタ（特別教室4拠点）、Wi-Fi アクセスポイント6拠点、タブレット40台
	<b>取組 内容</b>	<b>前 年 度</b>

	初年度	<p>(学校再開前) 全教員が Slack による情報共有を行い、課題郵送後、(4月20日現在) 8人の先生が8本の課題サポート動画を作成、HP上で提供中。今後も生徒の学力保障の一環として、課題の提供・動画で補完・メールで情報受領進行。</p> <p>(学校再開後) 継続して教員が週末課題(国英数)をPCで作成。原則週末課題をリモートでできるシステムを整える。並行して普通教室に加え、音楽美術書道家庭教室でもタブレットによる授業ができるような体制を整え、一人一台端末時代に先立ち、全教員がタブレットを利用した授業を行い、かつオンライン上で宿題を出せるようにする。</p>
	2年め	<p>① Pjtメンバー主導によるタブレットを使用した授業推進による授業理解力向上</p> <p>② 事前環境調査の上、環境のない生徒へのタブレット貸し出しも検討、基本全学年によるオンライン週末課題の実現</p> <p>③ 進路指導部による、オンライン進路指導の実施(独自及び府教委等作成の動画仕様)</p>
	3年め	<p>① 全教員によるタブレットを使用した授業推進による理解力向上</p> <p>② 事前環境調査の上、環境のない生徒へのタブレット貸し出しを行い、全学年によるオンライン週末課題の実現</p> <p>③ 進路指導部による、オンライン進路指導の実施(独自及び府教委等作成の動画仕様)</p>
	取組みの 主担・実 施者	<p>主 担： オンライン授業委員会(教務部長(委員長)、首席、管理職、各学年からの代表者1名)</p> <p>実施者： 全教員</p>
成果の検証方法 と評価指標	初年度	<p>1 ・ 学校教育自己診断(生徒)における「授業はわかりやすい」の肯定率を76%以上(R1:75%)</p> <p>・ 学校教育自己診断(保護者)「一日1時間以上家庭で学習している」50%(R01:47%)</p> <p>2 共通テスト受験者140以上(R1:139)国公立現役12名(R1:8)関関同立現役80名(R1:64)産近甲龍現役120名(R1:117)</p>
	2年め	<p>1 ・ 学校教育自己診断(生徒)における「授業はわかりやすい」の肯定率を77%以上</p> <p>・ 学校教育自己診断(保護者)「一日1時間以上家庭で学習している」55%(R1:47%)</p> <p>2 共通テスト受験者145以上(R1:139)国公立現役15(R1:8)関関同立現役90(R1:64)産近甲龍現役130(R1:117)</p>
	3年め	<p>1 ・ 学校教育自己診断(生徒)における「授業はわかりやすい」の肯定率を78%以上</p> <p>・ 学校教育自己診断(保護者)「一日1時間以上家庭で学習している」60%(R1:47%)</p> <p>2 共通テスト受験者150以上(R1:139)国公立現役20(R1:8)関関同立現役100(R1:64)産近甲龍現役140(R1:117)</p>